

総合的な
学習の時間
学習の時間

第3・4学年 総合的な学習の時間 学習指導案

平成27年11月20日(金) 5校時
東雲小学校 3学年10名 4学年5名
指導者 宮成 哲生 阿南 恵美子

1. 単元名 災害への備えについて考えよう

2. 単元の指導目標

- 避難時を想定し、困りを自分たちで解決していこうとする意欲を持つことができる。
【3・4年 関心・意欲・態度】(B)
- 地震や津波への備えや、あるものを利用し自ら工夫して生み出すことの大切さを理解することができる。
【3・4年 知識】(C)
- 困りを解決する方法について考えることができる。 【3・4年 思考・判断・表現】(A)
- 疑問に思ったことを図鑑などの本を用いて調べることができる。 【3・4年 技能】(A)

3. 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技 能	知識・理解
避難時を想定した時の自分たちの困りを解決しようとしている。	困りを解決する方法について考え、話し合うことができる。	疑問に思ったことを本で調べ、必要なことをメモすることができる。	地震や津波への備えや自ら工夫して生み出すことが大切であることが分かる。

4. 単元における「伝え合う力の育成」のための工夫

自分の考えを持つ	自分の考えと比べる、まとめる	交流する
<ul style="list-style-type: none"> ○社会科や避難訓練などで学習していることを振り返らせる。 ○防災キャンプなどで体験したことをまとめておく。 ○教室内に学習の成果物を掲示し、必要に応じて振り返ることができるようにしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ホワイトボードで考えをまとめさせる。 ○実験の方法と結果を表にし、考えをまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他グループの活動をまとめられるようワークシートを準備する。 ○実験の様子や結果を映像で記録させ、比較できるようにさせる。

5. 指導計画 (7時間)

時	学習活動	主な支援	他教科との関連	評 価
前時 まで	<ul style="list-style-type: none"> ○『地震や津波から自分たちの命を守ろう (3年)』(6月) ・自分たちの身を守る方法を出し合い、学校、自宅、地域において、避難や行動の仕方を考え、優先順位をつける活動をしている。 ○『上浦にはどんな仕事があるかな (4年)』(7月) ・上浦の仕事の特徴を調べる中で、観光に関係したものが多くことや、公官庁の施設が多いことをまとめている。 ・上浦の振興局、消防士、警察官の方などの防災に関わる仕 		(社会)	<ul style="list-style-type: none"> ○『わたしたちの住むまちはどんなまち(3年)』 ・それぞれの地区の避難場所を確かめている。 ○『安全なくらしとまち作り (4年)』 ・消防署などへ見学に行

	<p>事をまとめ、3年生と交流している。</p> <p>○『防災キャンプに参加しよう（3・4年）』（9月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練、避難地運営訓練を通して、テントの設営やバケツリレーなど減災の取り組みを考えたり、活動の感想を書いたりしている。 ・津波の想定やフィールドワークをもとに避難経路などをまとめる活動をしている。 <p>○『上浦の海を調べよう（3年）』（9月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上浦の海の様子を知り、津波からの自分の避難行動を確認している。 	<p>ったり、インタビューをしたりして、防災の取り組みについて調べる活動をしている。</p> <p>○『健康なくらしとまち作り（4年）』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄水場の見学などを通して、水を大切に使うことや汚水の処理についてまとめている。 			
1	<p>○避難地での困りを出し合い、学習計画を立てる。</p>	<p>○防災キャンプや避難訓練の様子を振り返りながら、困っていることを出し合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの命を守るために、多くの人に関わっていただいていることを振り返らせる。 ・バケツリレーの時の水の様子を思い起こさせる。 	<p>関</p> <p>災害時の訓練の様子や備えをもとに、困りについて進んで考えようとしている</p>		
	<p>小石・落ち葉・木ぎれなど大きなごみが入った水をできるかぎりきれいにできないかな</p>				
		<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの困りを自分たちの力で解決できるように、ゴールのイメージを持たせる。 ・そのまま飲み水にはできないことを確かめる。 			
2	<p>○課題解決の方法を調べて記録する。</p>	<p>○水をきれいにする方法や研究について調べさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係する本を準備する。 	<p>うまい方法とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だれでもできる ・どこでもできる ・道具が手に入る ・水がきれいになる 	<p>国語</p> <p>「本を使って調べよう（3年）」</p> <p>目次や索引から調べる。</p> <p>「興味を持ったことを紹介しよう（4年）」</p> <p>必要な情報を要約して、考えをまとめる。</p>	<p>技</p> <p>疑問に思ったことを適切な方法を用いて調べることができる</p>
3	<p>○課題解決の方法を交流し、グループの方法を決める。</p>	<p>○調べた方法について話し合っまとめ、自分たちにできる方法を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うまい方法の条件を確認させる。 ・ホワイトボードを使用させ、方法を図で記録させる。 			
4	<p>○実験をし、結果を記録する。</p>	<p>○自分たちの考えた方法で水の浄化を試し、結果と感想を記録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験方法と結果を写真で記録させ、交流しやすくさせる。 			
5	<p>○実験の方法について話し合い、よりよい方法を考える。</p>	<p>○グループごとに発表させ、実験方法について話し合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードや写真をもとに、結果と方法について話し合えるようにする。 		<p>思</p> <p>困りを解決する方法について考え、話し合うこ</p>	
6	<p>○前時の結果を</p>	<p>○グループごとに水をきれいにする方法を</p>			

	元に実験をし、結果をまとめる。	組み合わせさせ、実験の結果を交流させる。 ・1時に出し合った困りに目を向けさせ、次時につなぐ		とができる。 (発言)
7	○活動を振り返り、津波などへの備えについて考える。	○水をきれいにする活動などをもとに、避難時に準備しておきたい道具を確かめさせる。 ・出し合った困りをもとに、水以外にも工夫して解決できることはないか投げかける。 ・防災リュックの中身を、操作しながら考えられるよう準備する。	学級 「災害時の携行品」 理科 「太陽の光を調べよう(3年)」	知 地震や津波への備えや自ら工夫し生み出すことが大切であることが分かる(観察)

6. 本時案 (5 / 7時)

(1) 題目 避難地で水のごみや小石を取りのぞく、うまい方法を話し合おう

(2) 主眼 避難地での水の確保について、実験の方法と結果を発表し、方法のよさについて話し合うことを通して、水のごみや小石を取り除くよりよい方法について考えることができる。

(3) 展開

学習活動	時間	指導及び指導上の留意点	評価
1. 本時のめあてを知る。	2	○実験の方法と結果を発表して、うまい方法を話し合うことを知らせる。 ・話し合いの視点 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・だれでもできるようになっているか ・どこでもできるようになっているか ・道具が手に入れられるものか ・水がきれいになっているか </div>	
避難地で水のごみや小石を取りのぞく、うまい方法を話し合おう			
2. グループごとに実験方法と結果を発表する。	20	○グループごとに実験内容(どんな準備でどうやった)と結果(水のきれいになった様子)を発表させる。 ・ホワイトボードと写真を使って、実験の方法と結果が他グループに分かるようにする。 ・結果について全員で確かめ、表にまとめる。 〈予想される子どもの反応〉 ・(砂・砂利を入れた)砂・砂利を入れるのが大変だった。静かに水を入れないと砂利が混ざってしまう ・(ハンカチをかけて使った。)はじめに水が少しこぼれてしまったけれど、たるませるとうまく	

<p>3. グループの発表について、全体で話し合う。</p>	<p>15</p>	<p>いった。ごみは取りのぞけた。にごりが残っている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記録させる。 <p>○方法の簡単なものや水をきれいにできたものなど、グループのよさに目を向けさせて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>水のごみや小石を取りのぞくには、きめの細かい道具でごみや小石が通り抜けないように工夫するとよい。</p> </div>	<p>☒ 困りを解決する方法について話し合うことができる(発言)</p>
<p>4. よりよい方法についてまとめる。</p>	<p>8</p>	<p>○実際に水を使う場面を思い起こさせ、水のごりをさらに減らす方法について考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うまい方法を組み合わせて使って挑戦することをまとめ、次時につなげる。 	

第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

平成27年11月20日
東雲中学校3年・12名
指導者 広瀬 義人

1. 単元名 上浦の避難所運営についての提案
～避難場所で自分たちができることを考えよう～

2. 単元目標

- (1) 上浦地区の避難場所についての調べ学習を通して、現状や課題を知るとともに、意見交流や行政関係者への要望を通して、避難生活に対する認識を深めている。
- (2) 避難生活について関心を持ち、避難場所で自分ができることを考える中で、日常生活における防災意識をさらに高める。
- (3) 上浦地区の現状をもとに、避難場所の運営支援について、自分たちができることを考え、地域の安全や防災活動の意識を高める。

3. 単元の評価規準

	1.学習方法に関すること	2.自分自身に関すること	3.他者や社会に関すること
評価規準	①上浦地区の避難場所について意欲的に取材し、内容を記録してまとめ整理することができる。 ②クラスでの意見交流や行政関係者への意見・要望を通して、避難生活に対する認識を深めている。	①避難生活について関心を持ち、避難場所の運営について積極的に考えることができる。 ②避難場所で自分ができることを考える中で、日常生活における防災意識をさらに高める。	①地形や高齢化率等上浦地区の現状を知り、地震・津波が起きたときの避難場所についての課題意識を持つことができる。 ②避難場所の運営支援について、自分たちができることを考え、地域の安全や防災活動の意識を高める。

4. 単元における「伝え合う力の育成」のための工夫

自分の考えを持つ	自分の考えと比べる・まとめる	交流する
○避難訓練や防災キャンプ等で体験したことをまとめさせる。 ○ワークシートをファイルに綴じて携行し、いつでも振り返ることができるようにしておく。	○グループ活動で互いに意見を出し合い、自分の意見との違いを考えさせる。 ○それぞれの意見をもとに、グループの意見をまとめさせる。	○グループの意見を発表し、それぞれの学習内容を共有させる。 ○それぞれのグループに対して意見を述べ、理解を深めさせる。

5. 単元の指導計画

月／日	学習過程	次	主な活動内容	指導上の留意点	評価の視点
9 / 29 (火)		1		自分たちの1日を振り返り、避難場所の生活について想像させる。	避難生活について関心を持ち、避難場所の運営について積極的に考えることができる。(2-①) 地形や高齢化率等上浦地区の現状を知り、地震・津波が起きたときの避難場所についての課題意識を持つことができる。(3-①)
10 / 1 (木)	課題設定	2	避難場所での生活について考える(個人/班)	ライフライン(電気・ガス・水道)が使えない時の生活を想像させる。	
10 / 7 (水)		3		避難場所の生活の中で、特に配慮すべきことはないか考えさせ、乳幼児や高齢者に目を向けさせる。	
10 / 8 (木)	情報収集	4	避難場所での生活の課題について考える(班)	上浦地区の現状(人口・年齢構成等)や避難場所に備蓄すべき物資について考えさせ、調査すべき内容を整理させる。	上浦地区の避難場所について意欲的に取材し、内容を記録してまとめ整理することができる。 (1-①) 地形や高齢化率等上浦地区の現状を知り、地震・津波が起きたときの避難場所についての課題意識を持つことができる。 (3-①)
10 / 9 (金)		6			
10 / 14 (水)		7	行政関係者へのインタビュー(調べ学習/班)	振興局長・浅海井区長に、現在の地域の状況やこれからの計画等を質問・記録させ、わかったことを各自で整理させる。	
		8 9			
10 / 16 (金)	整理・まとめ	10	調べたことの整理(個人)	各自でわかったことをまとめさせる。	
10 / 19 (月)		11	調べたことの整理(班)	班ごとに、調べてわかったことを整理し、内容を確認する。	
10 / 21 (水)		12	調べたことの発表と意見交換	班ごとに調べたことを発表し互いに意見交換させる。	
11 / 4 (水)	課題情報設定	13	新たな課題について整理する(班)	前時の意見をもとに、新たな課題を含めて詳しく調べさせる。	避難生活について関心を持ち、避難場所の運営について積極的に考えることができる。(2-①)
11 / 9 (月)		14	課題について調べ、わかったことを整理する(班)	前時の意見をもとに、新たな課題を含めて詳しく調べさせる。	

11 / 11 (水)	整理・分析	15	調べた内容を整理・分析し、上浦地区や浅海井地区について調べたことを整理する (班)	災害時要援護者を中心に据えた避難生活について考えさせる。 ・地区で備蓄してほしい物資 ・自分たちの役割 ・その他	避難場所で自分ができることを考える中で、日常生活における防災意識をさらに高める。 (2-②)
11 / 12 (木)		16 17	中学生としての意見を考え、整理する (班)	今まで調べてきた内容から、自分たちで考える避難場所、自分たちにできる役割について考えさせる。	
11 / 13 (金)	まとめ・表現	18 19	スライドや発表原稿の作成(班)	○内容を考えさせ、コンピュータを用いて作成させる。 ○コンピュータの操作を支援。 ○全員が発言するよう、内容を考えさせる。	上浦地区の避難場所について意欲的に取材し、内容を記録してまとめ整理することができる。 (1-①)
11 / 16 (月)		20 21			
11 / 17 (火)		22	プレゼンテーションのリハーサル (全体)	発表のリハーサルを行い、必要に応じて内容を修正する。	クラスでの意見交流や行政関係者への意見・要望を通して、避難生活に対する認識を深めている。 (1-②)
11 / 20 (金) 本時		23	・避難場所への運営支援についての意見発表 ・行政関係者からの回答	災害時要援護者を念頭にした避難生活についてまとめ、中学生としてできることを考えさせる。	避難場所の運営支援について、自分たちができることを考え、地域の安全や防災活動の意識を高める。 (3-②)
11 / 26 (木)		24	単元の振り返り	まとめプリント配布・記入。	

6. 本時案

- (1) 題材 避難場所で自分たちができることを考えよう
- (2) 主眼 避難場所の運営支援のあり方について、自分たちに何ができるか意見を交流したり、行政関係者の意見を聞いたりすることによって、地域の安全や防災活動への意識を高めることができる。
- (3) 展開 (50分)

学 習 活 動	時 間	指 導 及 び 支 援	備 考
1. 本時の確認をする。	5	○各班の避難場所等に関する考えを発表し、それをもとに意見交換することを伝える。	
避難場所で自分たちができることを考えよう			
2. 班ごとに、自分たちがまとめた内容について発表する。	25	<p>○3つの班が前時までにまとめた内容を、それぞれ発表する。</p> <p>[1班]「避難場所に備えてほしい物」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要と思う物やその数量 ・乳幼児や高齢者のための物 他 <p>[2班]「避難場所で自分たちにできること」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生としてできること ・配慮すべきこと 他 <p>[3班]「日頃から備えておくべきこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃から家庭や学校でできそうなこと ・地区でできそうなこと 他 <p>※8月に被災地研修に行った生徒が各班に入っているので、現地での経験に触れながら発表するよう指導しておく。</p> <p>※1つの班の発表が終わるたびに、他の班から「感想・質問・意見」を挙げさせる。質問や意見については、その場で回答させながら意見の交流を図る。</p> <p>〈予想される質問・意見〉</p> <p>(1班に対して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算的に、可能なのか？ <p>(2班に対して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当に、中学生にできるのか？ <p>(3班に対して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰が担当(管理)して準備するのか？ 	<p>コンピュータ プロジェクター</p> <p>発表内容プリント</p> <p>(評価)</p> <p>クラスでの意見交流や行政関係者への意見・要望を通して、避難生活に対する認識を深めている。(1-②)</p>
3. 行政関係者の意見を聞く。	10	<p>○振興局長・防災危機管理課の方に、発表内容に対する意見を言ってもらう。</p> <p>※行政関係者から発表内容に対する質問等が出された場合は、該当する班のメンバーで考えさせ、回答させる。</p>	
4. 本時のまとめをする。	10	<p>○本時で学習したことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政がこれから災害への対策を進める上で少しでも参考にされるかも知れない。 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要望や提案を言いっ放しにするのではなく今後も自分たちができること・やるべきことを意識していくことが大切。 <p>○近い将来発生する南海トラフ巨大地震と津波に対して、自分たちで考えて行動できるよう、これからも常に意識して生活していくよう呼びかける。</p>	<p>コンピュータ 書画カメラ プロジェクター</p>